

【学校だより】

ほさかっこ

# 穂坂っ子

【学校教育目標】

心豊かで  
かしこく  
たくましい子ども

平成30年12月21日 NO.8 穂坂小学校長

**明日から冬休みです…<12/22~1/9> 2018年も残すところ、あと10日!**

**一人ひとりのよさを伸ばして……!**



校地内のすっかり落葉して冬の姿に変わった木々を観察すると、固い芽のなかに、もう春の準備がきちんとなされていました。与えられた環境のなかで、自分を精一杯に咲かせようとしている生命力の尊さに感動するとともに、人間も同じではないかと考えさせられました。どの子どもたちも、その子なりの誰にも負けない美しい花をもらっています。しかし、美しい花を咲かせるためには寒い冬も必要です。子どもたちにとって、厳しい寒さに耐え、開花の力を蓄えるときに小学校時代ではないでしょうか。

小学生の子どもをもつ保護者の方々を対象にした『親が家庭で行う職業教育（アンケート）』には、家庭での教育の必要性を強く感じている項目として「基本的な生活習慣を身につけさせること(74.6%)」、「時間やルールを守るようにしつけること(69.8%)」、

「自分のことは自分でさせること(68.8%)」、「責任感や忍耐力・根気を養うこと(60.3%)」、「学習習慣を身につけさせること(31.8%)」、「親が働く姿を見せること(30.6%)」、「家のお手伝いをさせること(27.5%)」、「子どもの将来についての会話を心がけること(21.7%)」があげられていました。

この結果から、『①基本的な生活習慣を身につけさせること、②時間やルールを守るようにしつけること、③自分のことは自分でさせること、④責任感や忍耐力・根気を養うこと』の4項目は、6割以上のご家庭で「家庭教育の必要性」を強く感じているということがわかります。また、この4項目は学校でも当然指導している内容です。つまり、家庭教育と学校教育の両者が互いに連携し合うことが、子どもたちの健やかな成長につながっていくと言えます。

いよいよ明日から冬休みに入ります。各ご家庭で年末年始の行事とともに、冬休みの予定をたてることと思いますが、お子さんが「これだけはがんばったよ。」「〇〇ができるようになったよ。」と、自分の成長を振り返ることができる冬休みになるようにご協力をお願いします。

3学期は、冬休みの様子を家庭から担任に伝えていただくことにより、子どもの成長した点を、さらに学校でも伸ばしていきたいと考えています。

どうぞ、よいお年をお迎えください。



シリーズ⑦

## 褒め言葉の効用!

**さりげない一言が、あたたかい!**

**子どもを伸ばす、魔法の褒め言葉  
覚えておきたい…**

**「さ・し・す・せ・そ」!**

料理の「さしすせそ」というと、「さ」は砂糖、「し」は塩、「す」は酢、「せ」は醤油【旧仮名遣いで(せうゆ)】、「そ」は味噌ということはよく知られています。

過日、講演会に参加した折に、子どもを伸ばす魔法の言葉「さしすせそ」を教えていただきましたのでお伝えいたします。

『さ→さすがだね』、『し→知らなかった、上手だね』、『す→すごいね、素敵だね、すばらしいね』、『せ→センスがいいね、成長したね』、『そ→そうだね、その通り』…

どの言葉も、言われていやな言葉はありません。褒め称える言葉や共感的に理解する言葉は、言われた子どもの自己肯定感を高めることでしょう。しかし、時と場合を考えながら使わないと、皮肉や嫌みにとられてしまうかも知れませんので注意が必要です。